

演者向け 音声付発表データ作成要領

目次 / 事前準備 / Windows / Mac / その他

- 事前準備 1
- ①Windows : PowerPoint2019/Office365 の場合 2～3
- ②Windows : PowerPoint2016/2013 の場合 4～5
- ③Mac : PowerPoint for Mac 2019 の場合 6～9
- ④その他 : Keynoteからmp4の作成方法 9

作成前に、以下3点のご確認をお願いします。

(1) 下記いずれかのバージョンのPowerPointを搭載しているPC

- Windows : PowerPoint 2013, 1016, 2019, Office365のいずれか
 - Mac : PowerPoint for Mac 2019*, Office365のどちらか
- *2019より前のバージョンでは動画の変換ができかねます。

(2) マイク（音声入力）ができる環境

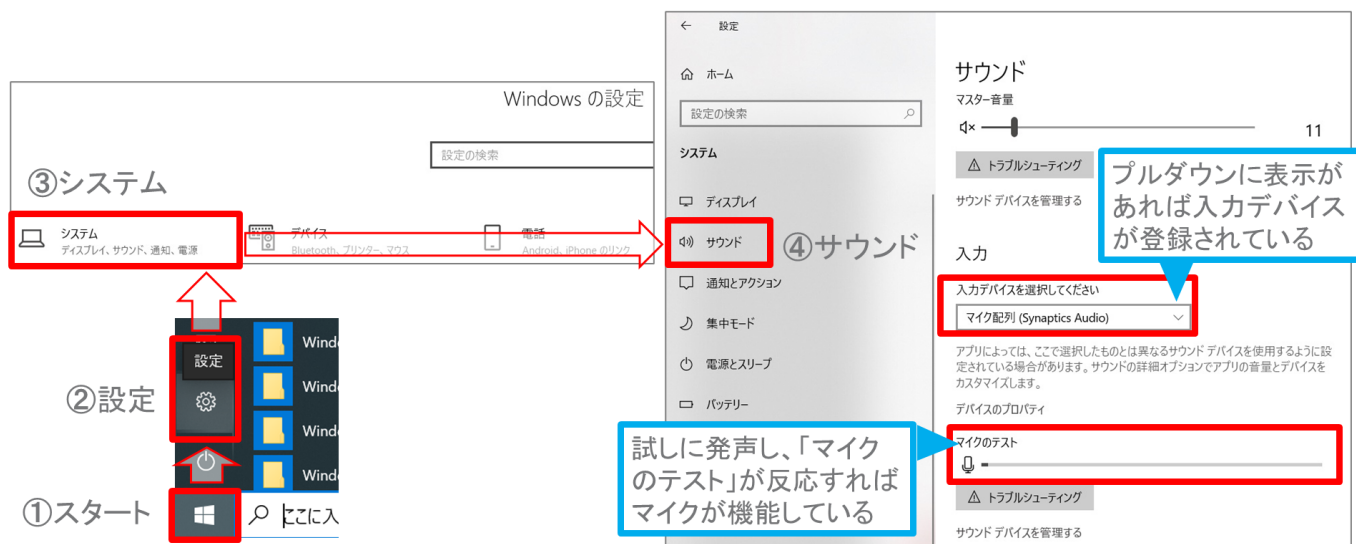
- 内蔵マイクでの録音も可能ですが、周囲の音声（ノイズ）も録音されてしまうため、ヘッドセットマイクなど、外付けマイクの使用を推奨します。

(3) 動画に入れるスライドの選択

- 動画に入れるスライドを選択します。
非表示設定をしない限り、すべてのスライドが動画に組み込まれています。
プレゼンで使用しないスライドは、非表示スライドに設定してください。

Windows共通 : マイクの確認方法

「スタート」→「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに発声し、反応することを確認します。



The image shows a sequence of Windows Settings screens with numbered callouts indicating the steps to check the microphone:

- ① スタート**: Points to the Windows Start button in the taskbar.
- ② 設定**: Points to the Settings app icon in the Start menu.
- ③ システム**: Points to the 'System' category in the Settings app.
- ④ サウンド**: Points to the 'Sound' option in the left sidebar of the System settings page.

On the right, the 'サウンド' (Sound) settings page is shown with additional callouts:

- A blue callout points to the 'プルダウンに表示があれば入力デバイスが登録されている' (If it appears in the dropdown, the input device is registered) message, pointing to the 'マイク配列 (Synaptics Audio)' dropdown menu.
- A blue callout points to the '試しに発声し、「マイクのテスト」が反応すればマイクが機能している' (Try speaking, if the 'Microphone Test' reacts, the microphone is working) message, pointing to the 'マイクのテスト' (Microphone Test) button.



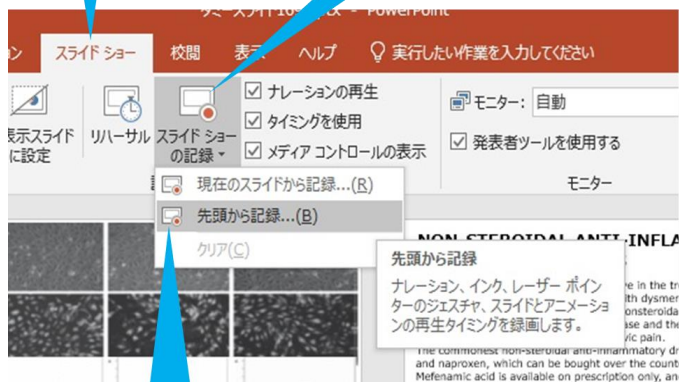
① Windows : PowerPoint2019/Office365 の場合



①「スライドショー」タブをひらく

②「スライドショーの記録」をクリック

⑤「記録の開始」をクリックして録音を開始する



③「先頭から記録」をクリック



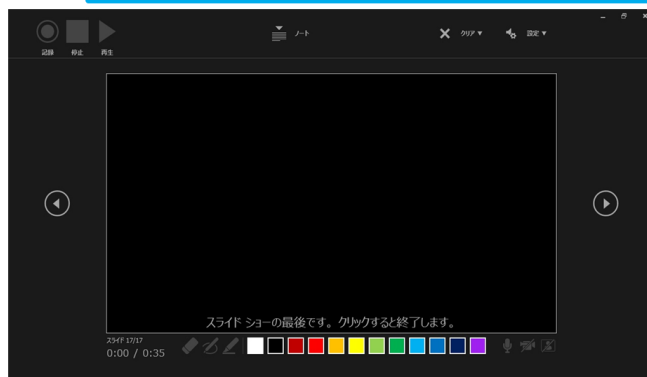
④内臓カメラが有効な場合、子画面でカメラ映像も記録されてしまう為、カメラはOFFにしてください

⑥スライドを進めながらマイクに向かってナレーションを録音（タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください）

⑦下記画面まで進めると自動的に録音が停止しスライドをもう1枚進めると編集画面に戻る



「記録の停止」をクリックするとそこまでの記録が残る



矢印もしくはスライド上をクリックすると次に進む

「記録の一時停止」をクリックすると記録が一時停止となる



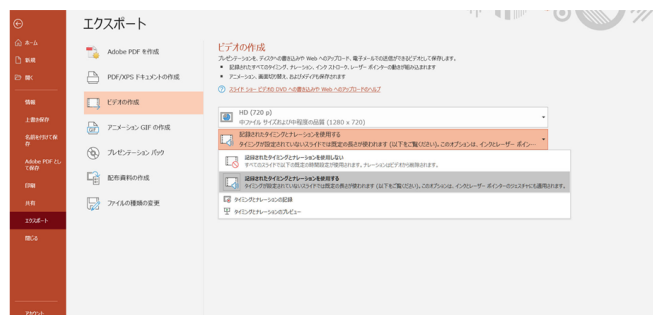
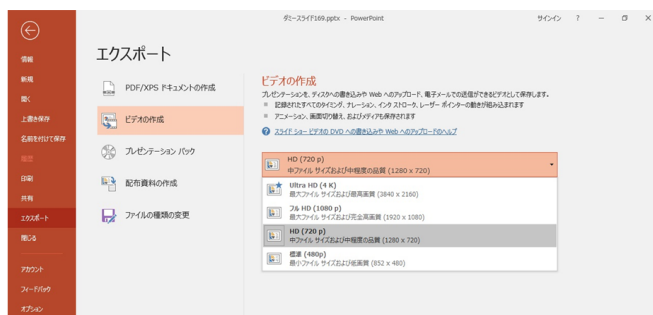
①Windows : PowerPoint2019/Office365 の場合



- ⑧スライドショーを最後まで進めて終了した後、「表示」タブ→「スライド一覧」を選択し、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に設定された時間が表記されていることを確認した上でPowerPointを保存する(新しく名前を付けて保存)

再度ファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認する問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行う

- ⑨スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う
「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



ビデオ解像度は[1280×720]を選択

「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では[MP4形式]を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

※20分のスライドショーからHD画質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。



②Windows : PowerPoint2016/2013 の場合



①「スライドショー」タブをひらく

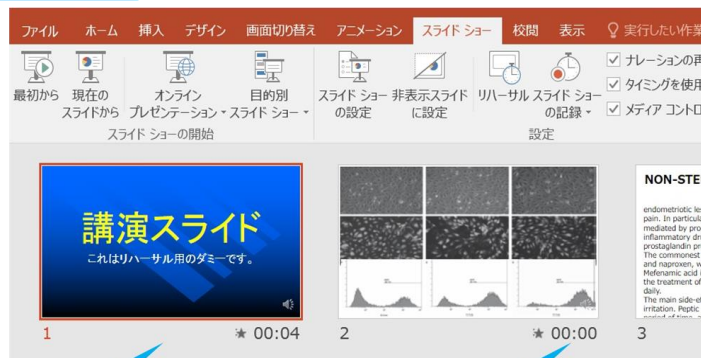
②「スライドショーの記録」をクリック



③「先頭から録音を開始」をクリック

④「スライドとアニメーションのタイミング」、「ナレーション、インク、レーザーポインター」の両方にチェックが入っていることを確認し「記録の開始」をクリックして録音を開始する

⑤左上の「記録中」を確認し、プレゼンテーションを進める
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)



⑥スライドショーを最後まで進めて終了した後、スライด์一覧表示にして、各スライドの右下に時間が表記されていることを確認出来たらPowerPointを保存する(新しく名前を付けて保存)

再度ファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認する
問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行う



②Windows : PowerPoint2016/2013 の場合



[Windows] PowerPoint2013・2016

⑦スライドを確認して問題なければ書き出しを行う
「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



ビデオ解像度は[1280×720]を選択



「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。
ファイル名を指定し、ファイル形式では[MP4形式]を選択します。
右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。
※20分のスライドショーからHD画質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。



③Mac : PowerPoint for Mac 2019 の場合



マイクの確認方法

「システム環境設定」→「サウンド」→「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。

「選択した機器の設定」では試しに発声し、反応することを確認します。



PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」→「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」→「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。

①システム環境設定





③Mac : PowerPoint for Mac 2019 の場合



PowerPointでの録音の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されていることを確認します。
「スライドショー」→「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録音が始まります。

スライドショーの実施

通常通り、スライドショーを行ってください。

ペンやポインター等も使えますが、最終的に
動画で記録されるのは、スライドを送る
タイミングと音声のみです。

タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、
音声途切れてしまうので、スライド表示後、
一息おいてから話し始めてください。

また、前のスライドに戻ると、戻ったスライドの録音が上書きされますので注意してください。

[illegible]



③Mac : PowerPoint for Mac 2019 の場合



スライドショーの終了

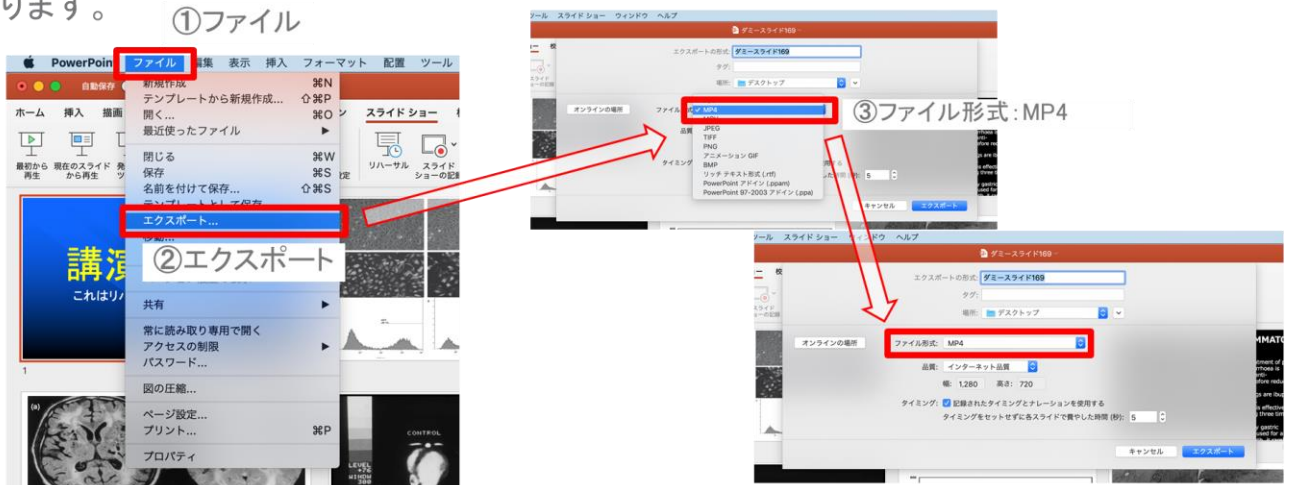
スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると「今回のタイミングを保存しますか？」という質問が現れるので「はい」を選択します。



保存先の選択

「ファイル」→「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式で「MP4形式」を選択すると、詳細が設定できるようになります。

①ファイル





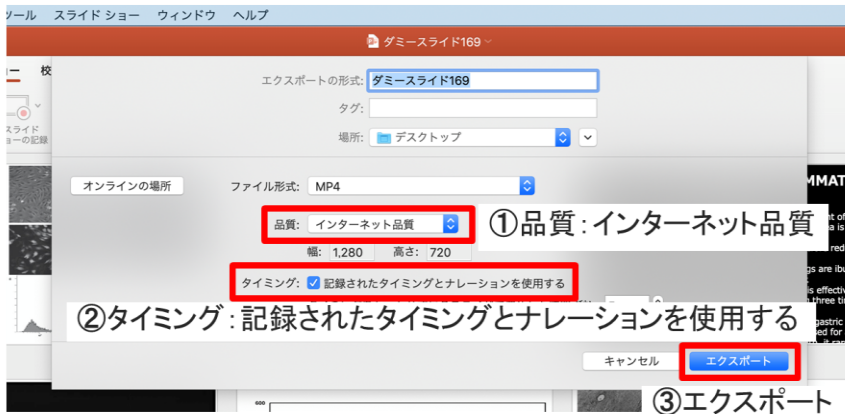
③Mac : PowerPoint for Mac 2019 の場合



品質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質」を選択し「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。

「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



動画作成の進捗は、
右下に表示される

20分のスライドショーから
HD画質(1270×720)の
動画を作成するのに
約10分かかる



④その他 : Keynoteからmp4の作成方法



■ Export Keynote Presentations as a Movie

<https://creativepro.com/export-keynote-presentations-movie/>

■ How To Export A Keynote Presentation As A QuickTime Video

<https://www.ethos3.com/2015/12/how-to-export-a-keynote-presentation-as-a-quicktime-video/>

■ KeynoteプレゼンテーションをPowerPointまたは別のファイルフォーマットに書き出す

https://support.apple.com/kb/PH26007?viewlocale=ja_JP&locale=ja_JP